

福島第一原子力発電所 測定・確認用設備B系統から採取したALPS処理水の分析結果について

＜ 参 考 資 料 ＞
2024年2月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- ALPS処理水について、第4回放出に向けたK4エリアE群及びK3エリアA群から測定・確認用設備B群への移送を2023年12月11日に完了しました。また、2023年12月15日から測定・確認用設備B群の循環攪拌運転を実施し、2023年12月22日に試料採取を行いました。
- 採取した試料の分析を行っており、2月下旬から第4回放出を開始する予定です。

＜1月25日までにお知らせ済み＞

- 採取した試料の分析結果から、放出基準を満足していることを確認しました。
 - ① 測定・評価対象核種（29核種）：告示濃度比総和「0.34」（1未満を確認）
 - ② トリチウム：17万ベクレル/ℓ （100万ベクレル/ℓ未満を確認）
 - ③ 自主的に有意に存在していないことを確認している核種（39核種）：全ての核種で有意な存在なし
 - ④ 一般水質（自主的に水質に異常のないことを確認）（44項目）：基準値を満足
- 外部機関（化研）の測定結果※も同様で、放出基準を満足していることを確認しました。
- これを踏まえ、2月28日より、測定・確認用タンクB群からのALPS処理水の海洋放出（第4回放出）を開始することを予定しています。引き続き、意図しない形でALPS処理水の海洋放出を実施することがないよう、最大限の緊張感を持って取り組んでまいります。

※ ①測定・評価対象核種（29核種）、②トリチウム、③自主的に有意に存在していないことを確認している核種（39核種）を測定

【参考】処理水ポータルサイト「測定・確認用設備の状況」ページ



- 測定・確認用設備、A・B・Cタンク群のALPS処理水の分析結果（トリチウム濃度・トリチウム以外の放射性物質の告示濃度比総和）を掲載しています。

「ALPS処理水 海洋放出の状況」の画面イメージ

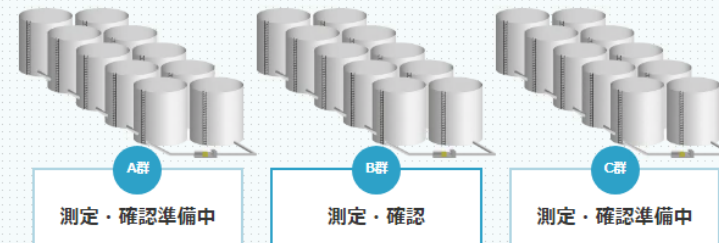


「測定・確認用設備の状況」の画面イメージ

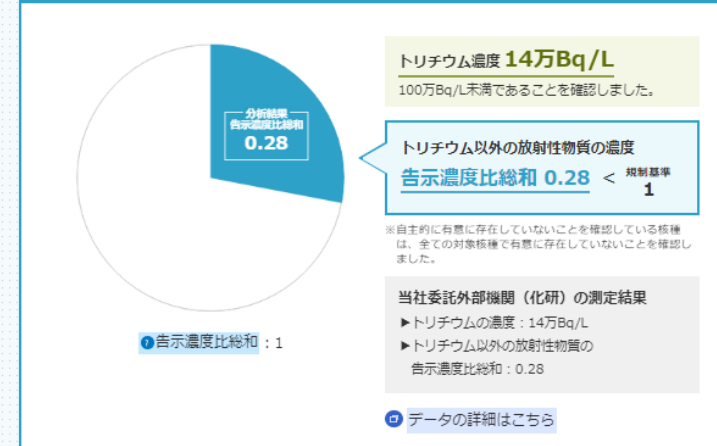
測定・確認用設備の状況

測定・確認用設備は、タンク10基（合計容量約10,000m³）×3群に分け、それぞれ「受入」、「測定・確認」、「放出」の3工程をローテーションしながら運用します。

（運用開始時は全てのタンクに水を受け入れ済。順次、測定・確認を行います。）



ALPS処理水の測定結果(2023年6月22日) ⇒ 放出基準を満足していることを確認しています



■ 処理水ポータルサイト 測定・確認用設備の状況

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/measurementfacility>

